

News Release

関係者各位



2023年12月18日

倉敷玉島 HI の土地購入について

藤本化学製品株式会社（代表取締役 藤本和将）は岡山県倉敷市の工場用地を取得し、新しい拠点を立ち上げることを決定しました。

取得用地について

立地場所；岡山県倉敷市玉島ハーバーアイランド3 工区

敷地面積；47,872.01 m²

取得時期；2024年1月頃

操業開始時期；2027年1月頃

当該用地は、2023年3月よりの公募が開始され、藤本化学製品は6月に申請を行い11月15日に企業立地が決定しました。

藤本化学製品は、かねてより医薬品原薬を中心とした受託製造を行って来ます。現在は、大阪府泉大津市にある泉北工場、兵庫県尼崎市にある金楽工場の2つの拠点で製造を行っており、更なる事業拡大に向けて新しい工業用地の確保が必要となりました。

現在の拠点は、何れも関西にあり東南海地震などの災害リスクが想定されるため、西日本を中心に調査した結果、当該用地は東南海地震の影響が少ないことに加え、岡山県は活断層が少ないため、直下型地震の発生確率が低く、地震リスクは小さいと判断しました。

また新幹線の新倉敷駅、山陽自動車道のインターチェンジに近いことに加え、玉島ハーバーアイランド内の水島港を活用し海外からの原料輸入も可能であるなど、交通・物流アクセスが他の用地より優れています。

当該用地は、藤本化学製品の主力工場である泉北工場のほぼ3倍の敷地面積（東京ドーム1つ分）があり、生産能力を大幅に増強することが可能となります。第一期（2027年）に1棟目のプラントを建設し、第三期（2039年予定）までの増設計画を策定しており、第三期までの投資額は約295億を見込んでいます（土地代込み）。第三期完工時点で取得用地の約半分の占有であり、生産能力は更に倍増できるだけの余力があります。

これまで藤本化学製品は、高薬理活性物質を取り扱うことができる封じ込め設備をいち早く導入し、高薬理活性原薬の受託を行ってまいりました。今後、高薬理活性原薬、一般原薬・中間体などのニーズに応じて製造ラインを増設し、事業拡大に繋げていく考えです。

また、将来は現状の低分子医薬品を基軸に核酸医薬品を中心とした中分子医薬品や新モダリティ医薬品、そして新規技術のニーズが益々高まることが予想され、製造プラントの製造様式が大きく変化していくことが想定されますが、そのような環境下においても、このたびの工業用地獲得により柔軟な対応が出来ると考えています。

第一期の建設予定

- ・製造棟（鉄骨造3階建、製造ライン3系列）
- ・福利厚生・事務棟
- ・品質管理試験棟（3階建）
- ・製品・原料倉庫
- ・危険物倉庫
- ・各種インフラ施設
- ・廃水処理施設

※第二期、第三期は同程度の製造棟を1棟ずつ建設予定